

## 「ユールストック (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

スウェーデンの 240V 用のユールストックを、日本の 100V で明るく光らせるには、 $100 \div 7$  で 1 個の電球が 14V 程度のものでないといけない。秋葉原に行っても 18V 用のものしか見つからなかった。しかもこの電球は、スウェーデン球とちがって、ろうそくの炎の形ではなく普通の豆電球だった。



「18V 用の電球」

口金規格は E10 で、実験用の豆電球と同じ。



「18V 球を 7 個直列で光らせたユールストック」

これでも結構美しいのだが、やはりスウェーデン製の電球をそのまま光らせて、窓辺に置きたい。一番いいのは、変圧器 (昇圧器) を使って、240V の電力を作ってしまうことだ。私は、そういうことには結構こだわるほうで、安くて性能のいい昇圧器を探したら、適

当なものが見つかった。小型で安いので、あまり性能が良くないが、ユールストックを点灯させるには十分な電流値を得ることができる。



「廉価版昇圧器」(たぶん東南アジア製)

国籍不明、保証証なし、定価不明の超アヤシイ商品。



「北軽井沢のユールストック」

これでスウェーデンと同じ窓辺になった。やはりこの灯りには、雪景色がよく似合う。皆様、是非見に来ていただきたい。